

## クイック スタート

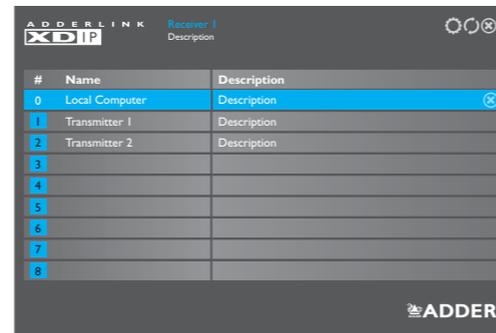
### チャンネルを選択する…

レシーバーから、ローカルに接続されたコンピューター（存在する場合）と任意の数のリンクされたトランスミッターを2つの主な方法で切り替えることができます。

…チャンネルリストを使用する

チャンネルリストには、すべての切り替えオプションが表示されます。

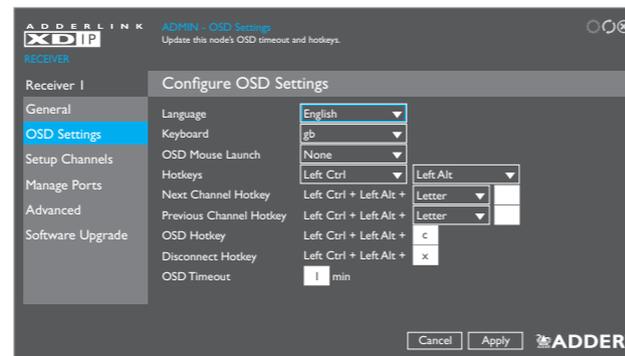
1. チャンネルリストがまだ表示されていない場合は、CTRLキーとALTキーを押したままCを押します。
2. 必要なチャンネルをクリック（または上/下矢印キーとEnterを使用）して接続します。



### …ホットキーを使用する

ホットキーは、チャンネルを切り替える最も簡単な方法を提供します。

1. CTRLキーとALTキーを押したまま、必要なチャンネルの番号(0など)を押します。  
ローカルに接続されたコンピューターの場合、1はリストの最初のトランスミッター、2は2番目のトランスミッターなどです。



### ホットキーを変更する

インストールに合わせてデフォルトのホットキーを変更できます。

1. チャンネルリストを表示し、アイコンをクリックする。管理者パスワードを入力します。
2. OSD設定ページを選択します。
3. ここでは、すべてのホットキー操作を変更できます。
4. 詳細については、AdderLink XDIPの完全なユーザーガイドを参照してください。

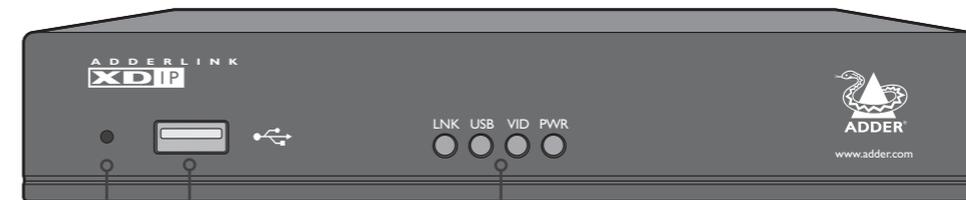
### XDIPノードの復元

新規インストールを作成するときに構成ウィザードの利点を十分に活用するには、デフォルト設定をXDIPノードに復元する必要がある場合があります。これは2つの方法で実行できます。

- [受信機のみ]チャンネルリストを表示して、アイコンをクリックします。要求された場合は、管理者パスワードを入力してから、[ソフトウェアのアップグレード]ページを選択します。[復元]ボタンをクリックします。
- 細い道具（まっすぐに伸ばしたペーパークリップなど）を使用して、（電源が供給されている間）フロントパネルの埋め込み式リセットボタンを14秒間押し続けます。注：リセットボタンは、USBソケットの左側の穴にあります。フロントパネルのインジケータが点滅し、リカバリーページが表示されます。[復元]ボタンをクリックします。

### ようこそ

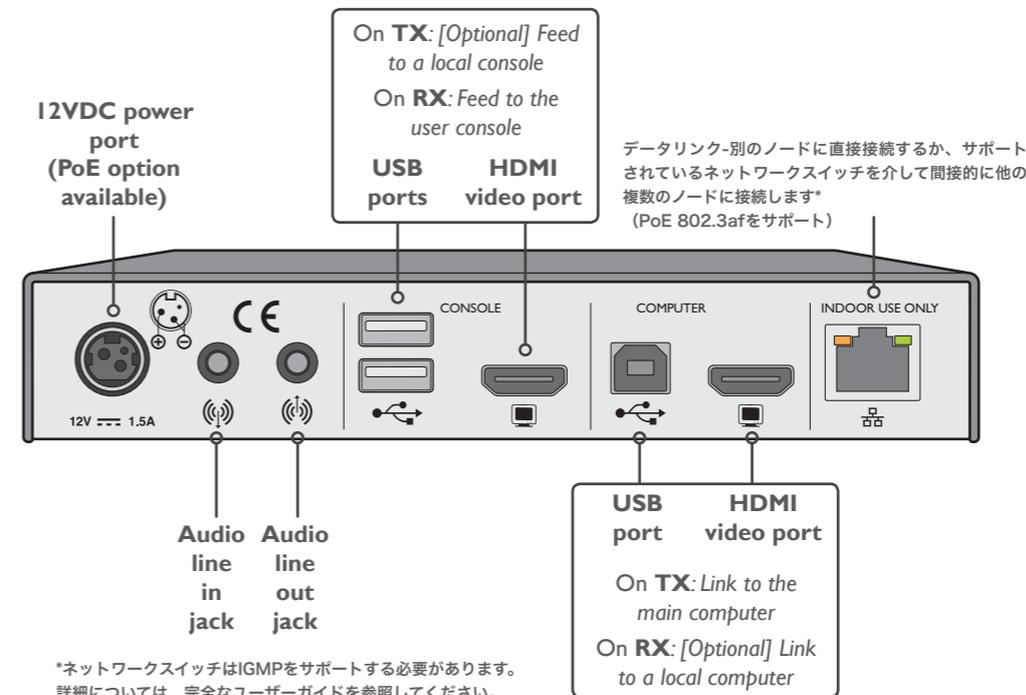
AdderLink XDIPエクステンダーをお選びいただきありがとうございます。これらの柔軟なモジュール（ノード）は、トランスミッターまたはレシーバーとして構成し、さまざまな組み合わせで組み合わせることができます。



Reset button  
USB port  
(Console)

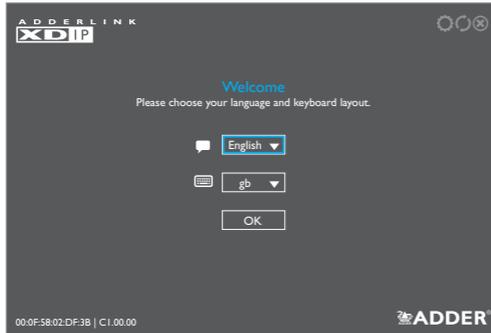
#### Indicators

LNK-有効なデータリンクの存在を示します。  
USBおよびVID-アクティブな接続を示します。  
PWR-入力電力の存在を示します。  
(色は全体的なモードも示します：TX：緑、RX：青、Start of Life：赤)

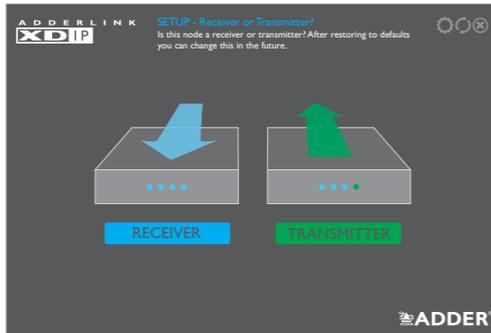


必要なすべてのノードを接続して電源を入れます。未構成のノードに接続されているコンソールで、それがレシーバーになると、ウェルカム画面が表示されます。この段階では、ノードのPWRインジケータは赤になっているはずですが、そうでない場合は、ノードをデフォルト設定に戻します。（背面ページを参照。過剰負荷な接続状態です。）

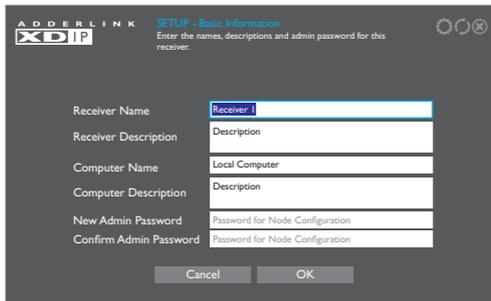
ここから開始：受信機となるノードに接続された画面、キーボード、およびマウスを使用して、よろこ画面が表示されます。



1 必要に応じて、言語とキーボードレイアウトを変更します。[OK]をクリックします。



2 RECEIVERオプションをクリックして、このノードをレシーバーにします。



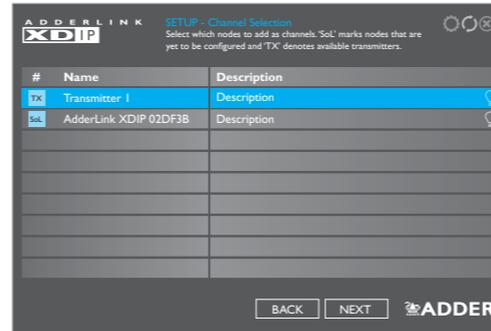
3 パスワードなど、このレシーバーの詳細を入力します。  
(構成の詳細への管理者アクセスに必要です) OKをクリックします。



Web: [www.adder.com](http://www.adder.com)  
Contact: [www.adder.com/contact](http://www.adder.com/contact)  
Support: [www.adder.com/support](http://www.adder.com/support)

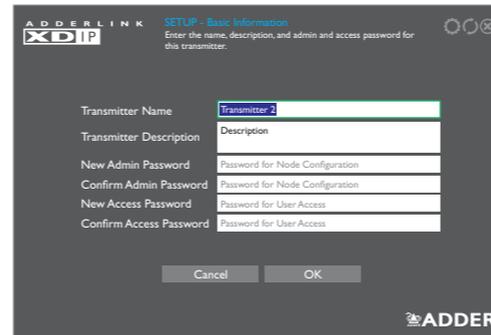
© 2017 Adder Technology Limited • All trademarks are acknowledged.  
Part No. MAN-QS-XDIP-ADDER\_V1.1

検出されたすべてのXDIPノードのリストが表示されます。エントリーの場合SoL (Start of Life) が表示され、構成解除されている(そのノードのPWR) それ以外の場合、構成済みのXDIPトランスミッターノードにはTXが表示されます。



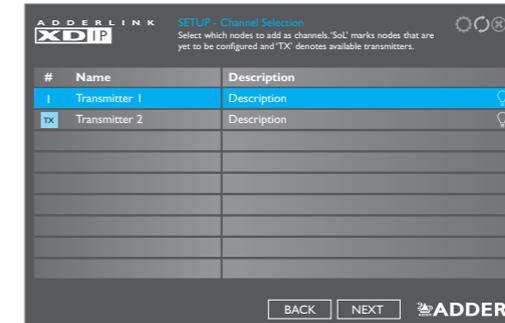
#### NOTE

- 一度に複数のノードを追加していて、特定のノードを識別する必要がある場合は、アイコンをクリックして、リストで選択したノードのフロントパネルインジケータを点滅させます。
  - リストを表示してからノードが追加されている場合は、リストを更新するをクリックします。パスワードは空白のままにすることができますが、これはお勧めできません。
- 4 SoLとマークされたエントリーのアイコンをクリックして、トランスミッタとして構成します。



5 このトランスミッターの詳細を入力します。2つの個別のパスワードを含みます。1つは管理設定用で、もう1つはこのトランスミッターへのユーザーアクセスを制限するためのものです。ここではOKをクリックします。

検出されたノードが再びリストされ、名前と説明に加えた変更がすべて表示されます。インジケータも赤く表示されます。



6 リストされたSoLノードごとに手順4と5を繰り返します。

- 7 このレシーバーから接続するすべてのトランスミッター (最大8つ) の左側の列に番号が表示されていることを確認します。エントリにTXが表示されている場合は、まだ接続されていません。エントリをクリックして、このレシーバーに接続します。送信機にパスワードが設定されている場合、パスワードの入力を求められます。接続に成功すると、エントリのTXが番号に変わります。
- 8 すべての送信機が接続されたら、[次へ]をクリックします。
- 9 これで、オプションでチャンネルリスト内の送信機の順序を変更できます。エントリをクリックして押したまま、必要なスロットにドラッグします。



10 すべてのトランスミッターが必要な順序になったら、[完了]をクリックします。

11 レシーバーにチャンネルリストが表示されます (1ページ目を参照)。ここから、ローカルコンピューター (受信機に接続されている場合) または関連する送信機のいずれかを選択できます。

#### 保証

Adder Technology Ltdは、この製品に、最初の購入日から2年間、仕上がりと材料に欠陥がないことを保証します。保証期間中に通常の使用で製品が正常に動作しない場合、Adderは無料で交換または修理します。誤用やAdderの制御の及ばない状況による損害については、責任を負うことはできません。また、Adderは、この製品の使用により直接的または間接的に生じた損失、損傷、または怪我の責任を負いません。この保証の条件に基づくAdderの全責任は、すべての状況において、この製品の交換価値に限定されるものとします。この製品のインストールまたは使用で解決できない問題が発生した場合は、サプライヤに連絡してください。

